

蔵知・いろいろお話を伺ってまいりましたが、最後に畜産の指導についてお話を聞かせ願いたいのです。

岡山県畜産会も皆さんのご協力を得て、県下畜産の指導を行なっており、また、外に県、団体の指導組織があつて、これらがそれ活動しているわけですが、それでは今後の指導を行なう場合、いかなることをやつたらよいか、いかなる方向にもつていつたらよいかなど、畜産会へのご注文も含めて、ひとつきびしいところをお願いしたいのですが。

物津・畜産会も一応のスタッフがそろつてくれているわけですが、ただここで問題は、だがその改善点を実施しやすいようにしてやるのです。悪くいえば助言書の書きっぱなしという気になるんです。これは指導組織の大きな欠かんだらうと思うんです。また、県は県で、団体は団体で指導しており、常に指導組織の統一がうんぬんされていながらできなかねている状態でしょう。

現在の県の指導はせいぜい町村までもしか行なわれていないし、町村は町村でマソス化して末端の農家へは手がとどきかねている状態でしょう。

化血研の 動物用ワクチン・血清・診断液

財團法人 化学及血清療法研究所

熊本市古京町3番1号 53-6331

事務所=東京・大阪・長崎 支 所=阿蘇・鹿児島

～～～～の畜産指導とその組織

のです。

農協の担当者と農家だけでは解決できない問題が最近は多いし、また、組合長

はいい具合にいってるのだろうで、下部のことをよく知らない場合もありますし

ね。実際に近頃は畜産部門にどんどん投資

して、それがうまくいかないで問題をか

かえている農協も多いですよ。

橋本・県の職員で末端と一番よく結びつ

いて、いっているのは普及員なんですね。

活動と畜産会の仕事を密着させるよい方

法はないでしょうかね。

だから、自分の経営がわかつてない

連中は、家計がくるしくなればすぐ出稼

ぎに出でてしまうし、経営をしっかりふま

めに、マイクロバスが回ってどんどん農

村の労力を吸収してしまっているでしょ

う。こうなると、毎日送り迎えしてくれ

ずかの家畜を飼うことなどはやらなくな

りますが、これらの動きをみても急にふえ

きませんね。

山上・これは農業全般にいえますが、最

近は県南を中心に近代企業がどんどん進

出してきまして、その労力不足を補うた

めに、マイクロバスが回ってどんどん農

村の労力を吸収してしまっているでしょ

う。こうなると、毎日送り迎えしてくれ

ずかの家畜を飼うことなどはやらなくな

りますが、これらの動きをみても急にふえ

きませんね。

山上・まあ、単一規模が全ての畜産で拡

大してきて、少頭羽数の飼養者が少なく

なったということは、畜産にとってマイ

ナスのようではあります、一方では防

疫の面で非常に操作がしやすくなってきたといえますね。

山上 茂吉氏

物津 律士 氏



蔵知 耕氏



橋本 精氏

山県養豚振興協会のなかに肥育家グループと、種雄豚をもつて人工授精を行っている改良グループが集つて活動しておりますが、これらの動きをみても急にふえそうにはいんですね。また、久世、津山、瀬戸の子豚市場をみましても、価格は非常に好調なんですが、いっこうにふえてきませんね。

山上・これは農業全般にいえますが、最近は県南を中心に近代企業がどんどん進出してきまして、その労力不足を補うために、マイクロバスが回つてどんどん農村の労力を吸収してしまっているでしょ

う。こうなると、毎日送り迎えしてくれ

ずかの家畜を飼うことなどはやらなくな

りますが、これらの動きをみても急にふえ

きませんね。

山上・別がなされていないのです。つまりどん

ぶり勘定で、畜産でいくら儲っているの

やらわかっていないのですね。

だから、自分の経営がわかつてない

連中は、家計がくるしくなればすぐ出稼

ぎに出でてしまうし、経営をしっかりふま

めに、またより以上の利益があげられるか

を努力していますね。やはり、経営とい

うもののつかみ方を指導する段階にきて

いるようですね。

三宅・畜産農家も、一日の所得が男で二、

三宅・我々は自立経営畜産農家を育成するためコンサルテーション回っていますが、畜産の企業化がやかましくはないですが、畜産に入つてみると、経営そのものは、財産と資産の区線だけでしたが、現在では姫線沿線まで労働力吸収の手が伸びています。道路がよくなればますますこの傾向が強くなるでしょうね。

蔵知・我々は自立経営畜産農家を育成す

るためにコンサルテーション回っています

わけですが、畜産の企業化がやかましくはないわざながら、実際に農家に入つてみ

ると、経営そのものは、財産と資産の区

線だけでしたが、現在では姫線沿線まで労働力吸収の手が伸びています。道路

がよくなればますますこの傾向が強くな

るでしょうね。

蔵知・我々は自立経営畜産農家を育成す

るためにコンサルテーション回っています

わけですが、畜産の企業化がやかましくはないわざながら、実際に農家に入つてみ

ると、経営そのものは、財産と資産の区</p

表1 サイレージの品質による
乳量増加量

サイレージの質	1頭1日当たり乳量增加
優	2.08 Kg
良	1.78
可	1.38
中	0.44
不可	0.19

対照は乾草とカブ

サイレージとしては以前は冬期牛の飼料に限られていたが、現在ではその考え方はすたれ、すでにサイレージの通年給与技術体系も確立されてきている。つまり、サイレージの給与を中心とした乳牛の飼養法に変ってきてるのである。

しかし、ここで問題は、質の良いサイレージを食わせることである。牛の腹が

1. サイレージ

2. サイレージ

作りの職人

サインレージといふ以前は冬期用の飼料に限られていたが、現在ではその考え方を確立されてきている。つまり、サイレージの給与を中心とした乳牛の飼養法に変わってきているのである。

問題はでていないようであるが、これが長期間になるとケトーリジスの発症、乳量の低下などが現われてくる。第一表は、与えたサイレージの品質の良否により、乾草とカブを給与している乳牛と比較して、乳量の増加量の差をあらわしている。

雑菌の活動をおさえてしまい、材料の養分の損失を防ぐようになる。つまり、乳酸による缶詰ができる上がるわけである。
ということは、乳酸菌が早く繁殖し、乳酸を多く作れるような状態に、我々がサイロ内の状態を作つてやればよいこと

サイレント作りのトイント

作りの考え方

い、ないたるよだへさせればよいといふのではない。一キロでも二キロでも多く乳がでるよう、よい草を作り、ようとする。ところが乳酸菌によつて乳よいサイレージを作ることが大切になる。酸酵酵がおこり、その結果乳酸が作られ悪ハナイソーンでも豆期間の合子なら、二つし後から星をさす、この、四

「作りのホイント」

ただいて、技術がどんどん進歩している時代ですから、普及員としても高度な講義をきいて勉強してもらいたいですね。惣津・日本人というものはどうも、国の先生は一番えらいんだ、県の人がその次で、団体の職員はその下だ、という潜在意識をもつとるようですね（笑）。おかしな話ですよ。それに、地方大学である岡山大学にしても、岡山県が相当金を出して成り立っているのに、いばついて全然解放していないような状態なんですよ（笑）。アメリカなんか、州の大学だということで、試験場やら普及員に全面解放でしょう。

山上・普及員の再教育の話がでておりますが、アメリカなんかをみますと、各州に州立大学があつて、ここにエクステンション・プロフェッサーという下部の普及員を直接指導するといった普及員指導の専任教授がいるのですね。こういった制度を岡山大学あたりでもとり入れていけば困りますね。

来年度の岡山県畜産施策の要点

それをありがたかっていうんですからね
普及員なんかも制度の上にあぐらをかいていたんではいけませんよ。自分の技術でもって、裸で農家の中にとびこんでいくような人間にならんといかんですよ
三宅・県でも団体でも同じですが、一人の人間が年をとっていくとだんだんとボストンが上っていくわけですが、研究職といいますか、技術者をあまり動かしては

いかんですね、技術者はひとつのことときわめないよね。昨日までいたはずだがと思つていると、もう今日は行政職に変わつていたという具合ですから（笑）。民間の人は、それ一筋に生命をかけているのですからね。

蔵知：昔みたいに筋の通つた専門家がいなくなりましたね。なんでも屋になつてしまつて。

豚のほうは一番は衛生問題です。これからは SPF 豚の活用を大いに図らなければならぬと思っております。現在は SPF 豚は学術目的だけに利用されていま
すが、これを一般に利用した場合どのよ
うな経済効果があるか、これは国がや
るべきことでしょうが、國と協力して早
く解明しようと考
えています。
養鶏では、ND のワクチネーションを
もう少し研究しなければならないことと
く

来年度の岡山県を
橋本・國の農林省自体もそういった傾向
ですね。

まあそういうことで、来年度の県の施
策の最重点は試験研究の充実においてい
るのです。何にしても、技術が先行しな
ければうまくいかないわけで、そのため
には技術開発が常に行なわれていること
が必要なのです。

幸い、岡山県では各畜産試験場が早く
確立され、その試験研究の成果は全国
で高く評価されております。これをより
充実させようと考へてゐるのです。

三宅・その場合、試験場内部だけの試験
研究におわらないで、流動している畜産
業界そのものをとりあげてテーマにして
いただきたいと思うのです。例えば、團
地化、主産地化に努力しているところの
なかへ研究テーマを求めてたりしてね。

そういうことですね。よくわかりました。

そこで、技術開発のためには、何を重点にするかという目標を置いてかからなければならぬということで、来年度では酪農での目標を、「総合農政の立場もあるわけですが、水田を中心にして、里山、畑をひっくるめた技術体系の確立を一番大きなテーマとしてとりあげているのです。今までは、個々の技術はあったのですが、これを一環した技術はなかったので、新しい目標にしているのです。

肉用牛では、何をおいても山が第一の対象になると思うのです。しかも岡山県の場合は、傾斜の急な山が多いのですから、この急傾斜地でいかにして牛を飼つたらいいか、つまり、急傾斜地をいかに草地造成するか、その草地をいかに利用していくたらよいか、この技術体系の確立を目指においています。

最近育成率が全般的に非常に下っているのです、これはなぜか、それではどうしたらよいか、ということに的をしぼってみたいと考えているのです。
これらに付随して、三宅さんがおっしゃるよう、現地にもどんどん出向いて研究を有益なものにしていきたいと思っています。

誠知・今日はお忙しいところ、年頭にあたり有益なご意見を多々お聞かせいただけ、まことにありがとうございました。

四月からの新年度は、いよいよ総合農政が推進される年であり、岡山県の畜産にとりましても、新しい転換を要求されてくることと思われますので、皆さん方のご奮斗を期待して、この放談会をおわりにしたいと思います。

(完)

- 4 -

質が悪い。また菌類のなかには、好気性菌といつて酸素を好む菌と、酸素を好みない嫌気性菌があるが、乳酸菌は嫌気性菌であるので、早くサイロのなかの酸素をなくしてしまい、しかも高温にしないことが大切である。

一般に青刈とうもろこしはよいサイレージができるが、イタリアンはよいものができるにくいといわれている。これは乳酸菌が糖分を利用して繁殖するためで、青刈とうもろこしには利用できる糖分が多いが、イタリアンは比較的少なく、反対に蛋白質が多い。植物は死ぬと細胞より汁液を出すが、この汁液のなかの糖分を利用して乳酸菌は繁殖を続けその結果乳酸が生成されるが、材料の一・五・二〇%の乳酸ができると乳酸菌の活動はとまり保存のきく状態となる。この状態になるまでに、詰め込み後だいたい一ヵ月から五〇日間ぐらいかかる。安定的な酸度(pH)は四・二以下がよく、酪酸菌は活動しなくなる。

3. サイレージ

作りのポイント

R = $\frac{100-W}{100-w} \times 100$
R = 予乾して到達すべき材料の含量
W = 材料の刈り取り時の水分含量
w = 目標水分含量

ワラのまゝ	切り	重量の2.53倍
ワラ	まゝ	2.61
二つ	切り	2.78
四つ	切り	3.44
八つ	切り	

を行なう。

刈り取り時水分含量が八五%であるものを七五%にしたい場合、式にこれらの数字を入れて計算するとRは六〇となる。つまり六〇%の重量まで下げればよいことになる。また吸湿剤としてイナワラがよく使われるが、表二のように、切った長さによって吸水力が違うから注意する。前例に八つ切りワラを使用する場合は、「〇—〇」、つまり「一・一六」つまり材料一〇kgにワラを「一・一六」混ぜればよいことになる。

三、サイロの掃除と消毒

細切する長さは、材料の種類、熟期、水分含量によつて違つてくるが、水分の割合は、材料の軟かいものは長く、硬いものは短く切る。一般的には、一・五・五cmまで下げる。十分洗つておけばよい。水洗い後は、水気がなくなつてから詰め込む。

四、踏圧、被覆、重石

踏圧は材料間の空気を除くため、材料の汁液を出やすくするため、多くの材料を詰め込むためにできるだけ十分行なう。おおいは最近はビニール布がほとんど使用されている。材料と空気を完全にたじスベースに多くのものが入る。空気も排除しやすく、早く気密状態になつて材料の呼吸作用を止めることができるし、

二、材料の細切

材料を細切すると詰め込みやすく、同じスベースに多くのものが入る。空気も排除しやすく、早く気密状態になつて材料の呼吸作用を止めることができるし、

のためには同じ種類でも品種を考えたり、刈り取りの時期を考えることが大切である。つまり適期刈り取り、最高の養分収量があり、しかも水分含量が適当な時がよいのであるが、天候、跡作、作業などの都合によつてうまくいかない場合が多い。含有水分が多すぎて材料の汁液がたくさん出されると、汁液に細菌が繁殖し腐敗の原因になる。サイロの底に汁液がたまるようではよいサイレージはできにくい。

一般に材料の最適水分含量は七〇・七五%がよいとされている。ところが刈り取りの時期によつては八五・九〇%の水分含量がある。そこで、刈り取り後一ヶ月の晴天をみはからって予乾を行なうか、水分吸収剤を混入する必要がある。素人がその材料の水分含量を知ることにはなかなかむずかしいが、簡単な方法として握り試験がある。これは細切した材料を両手に一つかみとり約一分間強く握りしめている。そして手から水滴がおちたり、指の間からにじみ出でてくるような場合は、少なくとも八五%の水分はある。両手を開いた時、材料はボールのようになかたまっているが、水に浸したような感じではなく、光沢があつてボールの形が次第にくずれる程度であればちょうどよい。

現在農業に従事しているか、あるいはこんど従事すべき立場にある青少年を対象とした後継者研修では六カ月または九カ月間とする。また、農協等の指導員等では三カ月、六カ月、九カ月間とする。

(農村青少年等畜産技術留学研修事業研修希望者募集中)

どんどん研修に出かけよう

最近の農業後継者の意欲はなかなかすばらしい。特に畜産の後継者の意気込みは立派であるが、しかし、こんどの状勢の元で畜産経営を行なつてゆくには高度の技術と経験と人間性の高揚が必要とされる。その為に、まず先進地のすぐれた畜産経営農家に実際に入つて、その技術を身をもつて学ぶとともに、その地域におけるいろいろな活動に参加して社会生活をも学ぶことを目的としている。

一、研修期間

今はこんど従事すべき立場にある青少年を対象とした後継者研修では六カ月または九カ月間とする。また、農協等の指導員等では三カ月、六カ月、九カ月間とする。

二、研修先

北海道から九州に至るまでの日本全国で、規模も大きく、先進的な技術を取り入れすぐれた畜産経営を行なつており、しかも研修生の研修内容についても学びとる。

三、研修内容

すぐれた先進地の農家に入り、家族の一員として働きながら学ぶ。また近在の先進的施設や機関の現地視察を行なうとともに、いろんなグループ活動に参加して、対人関係についても学びとる。

四、研修生手当

研修生には旅費、見学費、教材資料費等を含む研修手当を支給する。支給額は、後継者研修生一ヶ月当たり七、〇〇〇円、技術員研修生一ヶ月当たり一〇、〇〇〇円の予定である。なお他に、岡山県畜産会より諸種参考資料を無料配布する。

五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

二十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

三十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

四十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

五十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

六十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

七十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

八十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

九十九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百五、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百六、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百七、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百八、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百九、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百十、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百十一、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百十二、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百十三、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百十四、研修の申込み

希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百十五、研修の申込み

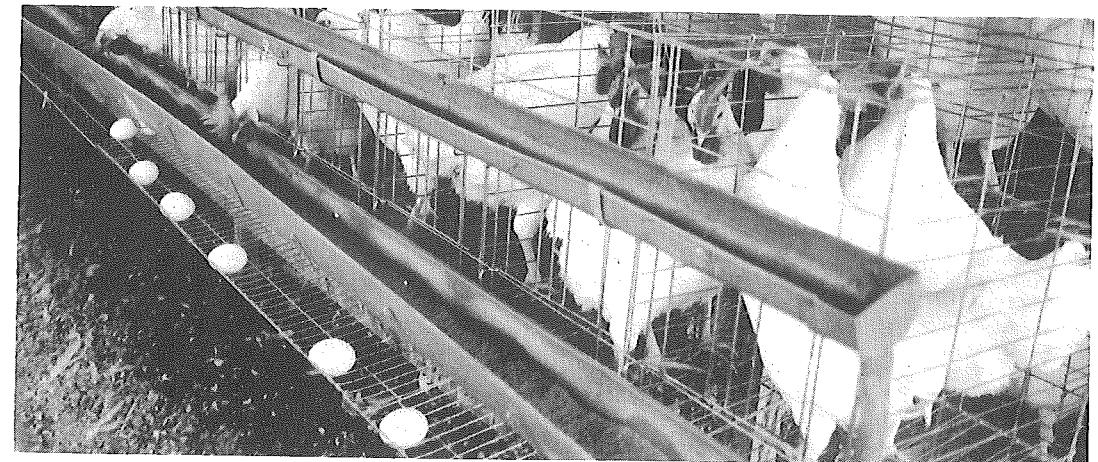
希望者は至急近くの農業改良普及所か、あるいは直接岡山県畜産会へ申し込むこと。四月より開始されまで早く申し込むこと。

一百十六、研修の申込み

ニューカッスル病

ワクチンの効果的接種法

技師 上野 満弘



一、はじめ

現在使用されているニューカッスル病ワクチンは、生ワクチン（以下生ワクと略す）にしろ、死毒ワクチン（以下死ワクと略す）にしろ、ワクチン接種によってニューカッスル病の感染を完全に防ぐことはなかなかむずかしい。

その理由をあげてみると、

- (1) 移行抗体を保有するヒナに対して、死ワクはほとんど無効だし、生ワクにしてもB₁株のような弱毒株のものは、飲水投与あるいは点眼接種など一般的な使用法ではあまり大きな効果を期待できない。
- (2) 幼令期の高い抗体がそのまま100%免疫率と結びつかない。

表1は昨年春の日本獣医学会で橋口（九

州家衛試）氏によって報告されたものであるが、幼令期に生ワクをもつて高いH I値を与えても、H I値の高いヒナが100%生存するとはいえない。

(3) 日令がある程度進まないと抗体の産生が悪い。

(4) 抗体は終生持続するものではなく、日時の経過とともに消失する。特に幼令

期の抗体は早く消失する。
ニューカッスル病に自然感染して非常に高い抗体を得た耐過鶏でも、一生ニューカッスル病に対する安全な抗体を持続するものではない。

(5) 図1でもわかるように、抗体のできかたにかなり大きなバラツキがあり、齊一に抗体を持たせることがむずかしい。これはワクチン接種のみに頼るのでなく、環境を整備してニューカッスル病ウイルスが絶体に侵入しないように処置をすることを第一とし、そして、より効果的なワクチン接種をしておくことが必要である。

本稿では、現在もっとも効果的なワクチン接種法と考えられる生ワクのスプレー（噴霧）接種法と、生ワク、死ワクの併用接種法について述べてみる。

二、生ワクと死ワクの併用法

ワクチンの接種をする場合、一回だけの接種では高い抗体はできないが、二回、三回と追加接種してやると高い抗体ができる（ブースターの効果という）。性質を持っている。その場合、生ワクだけを使ったり、死ワクだけを使っていたの

表1 幼令期のH I値と免疫率

接種後、2週間目に攻撃	接種後、4週間目に攻撃	H I値	
		免疫率	免疫率
< 5倍	0%	< 5倍	10.5%
5	16.6	5	54.3
10	46.9	10	95.0
20	73.3	20	100.0
40	70.0	40	100.0
80	75.0	80	100.0
160~320	66.6		

但し生ワクチンは4日令ヒナに1ドロップ飲水投与

ではあまり高い抗体の產生は期待できない。しかし、生ワクで免疫してきたものに死ワクを接種すると、非常に高い抗体ができる。

図1は当場において試験した結果であるが、生ワクだけを接種するよりか、途中で生ワクから死ワクに切り替える方が抗体産生のよいことがわかる。このため、農林省の指導案でも併用法を取りあげて図2のプログラムをたてている。

なお、併用法でも死ワクから生ワクに切り替える方法ではあまり高い抗体ができる、死ワクを連続して使ったと同程度の抗体産生である。

安全性についてもこの併用法はもっと安全性についてもこの併用法はもっと

もすぐれたワクチン接種法である。生ワクで高い抗体を持たせようとするとき、弱毒株のスプレー接種あるいは中毒株などを使用することになる、そのため大なり小なりの悪影響が出る危険性があるが、併用法では死ワクによってブースターの効果をねらうのであるから悪影響は考えられない。

図2の併用プログラムによつて、生ワクから死ワクに切り替えると当初の抗体产生はよいが、何日か死ワクを注射していると、死ワクに切り替えた当初のよう

な高い抗体はできにくいものである。

併用法について提案

そのため後述のような併用法を提案したい。しかし、この提案は個人的なもので、種々検討の余地があることは前もって御了知願いたい。

ニューカッスル病を疫学的にみると、その発生は晩秋から早春にかけてであると、死ワクに切り替えた当初のようない傾向にある。

このように、ニューカッスル病の発生は季節的な関係があるので、生ワクから死ワクへの切り替えを週令や月令のみで計画するのではなく季節的な接種計画をたてるべきではなかろうか。

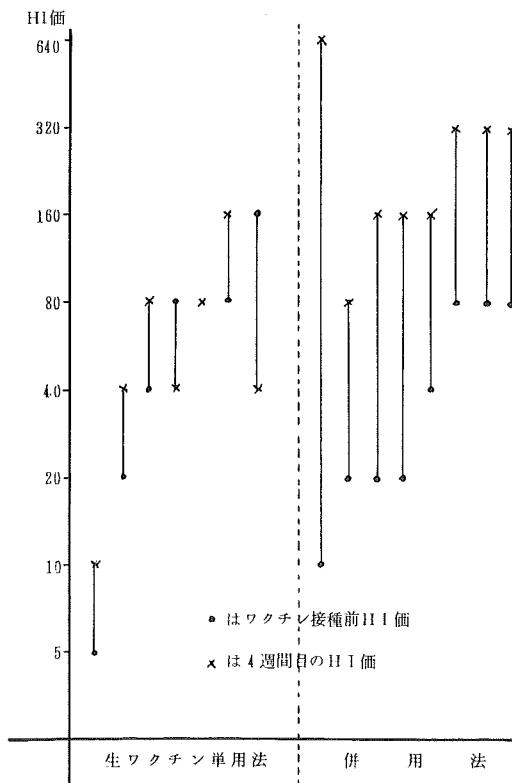
たとえば、ニューカッスル病の危険時期に入る十一月頃を切り替え時点として、冬季性の少ない春以降のふ化ヒナに対して、生ワクを主体として基礎免疫させ、十一月以降は死ワクに切り替えて接種効果を増大させる。

十一月時点が育成期にあるヒナおよび十一月以降のふ化ヒナについては危険性が大きいので、図2の併用プログラムをそのまま実施する。

なお、前記のニューカッスル病危険時期以外でも、ニューカッスル病が絶体に発生しないとはいえないが、危険が予想される場合に死ワクに切り替えると、死ワクによって高い抗体ができるので、ニューカッスル病予防の効果が期待できる。

われわれの実施した試験結果では、幼令期のヒナに生ワクB₁株の飲水投与ある

図1 再免疫の効果(12週令)



かたにかなり大きなバラツキがあり、齊一に抗体を持たせることがむずかしい。これはワクチン接種のみに頼るのでなく、環境を整備してニューカッスル病ウイルスが絶体に侵入しないように処置をすることを第一とし、そして、より効果的なワクチン接種をしておくことが必要である。

“酪農・養鶏機ならおまかせ下さい”

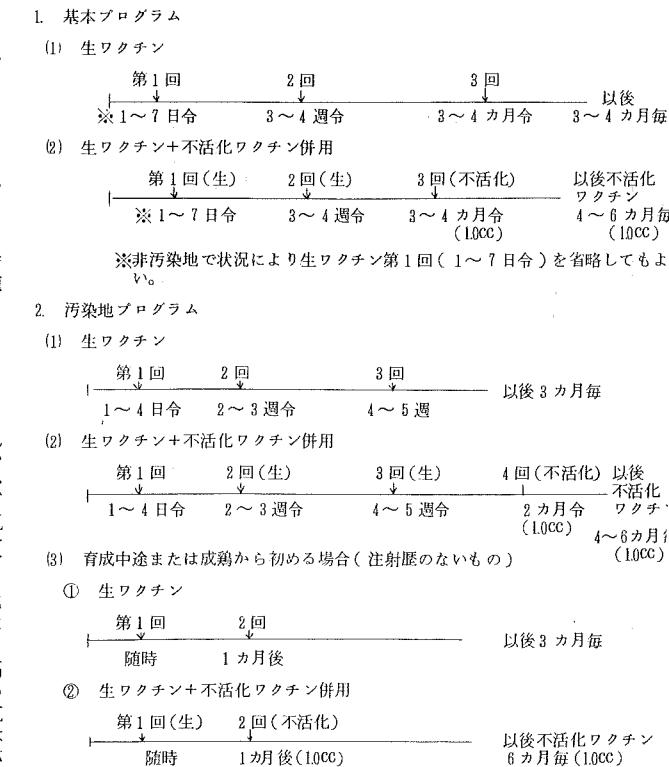
農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の一七

小六農機株式会社

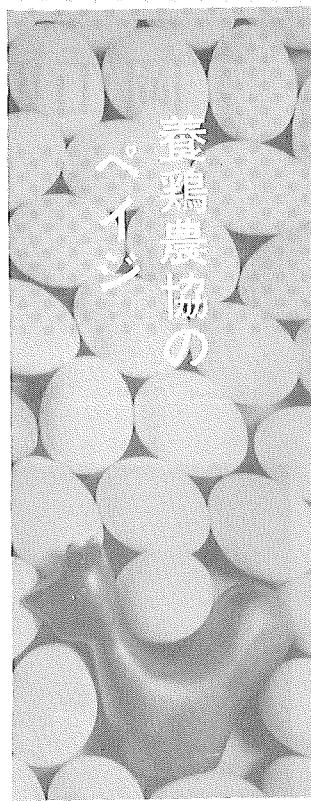
TEL 岡山②0307代 岡山市外専用110
営業所 高梁・金川・児島

図2 ニューカツスル病生ウイルスB株ワクチン予防接種プログラム



体はできなかつたが、スプレー接種をしてやると若い日令から高い抗体のできる成績であった。

三、生ワクのスプレー接種について



共済会規約を全面的改訂し 共済互助会規約を制定することについて

この組合が「鶏の共済制度」を実施したのは昭和二十七年一月一日からでした。

から、昨年末で満十七年を経過したわけです。その間、組合員相互の利益擁護、増進のため果たした業績は、計り知れないといつても過言ではないと思ひます。

特に、先年のニューカツスル病禍が激しかった時に、防疫活動に尽した役割はまことに目覚ましいものでした。

しかし、この制度設立と運営の趣旨に変わりはなく、十七年の歳月と経験の積み重ねが、この制度の改訂を要求するに至りました。改正規約の原案は、一月十一日開催の理事会で可決され、次の通常総会へ議案として提出されます。

改訂される主要な部分

改訂される部分は、おおむね次の通りです。

1. 法定の家畜共済制度との混同等誤解を避けるため、名称を共済互助会とす

る。(規約第一条)

2. 従来、この会を運営するための会計は特別会計とし、慣行として一般会計の協力と援助を得ていたが、これらを

明文化、具体的に示す。
(規約第四条及び第八条)

3. 従来、毎年通常総会の議を経て決定していた左の各号の事項を、本年の総会で決議して施行規則に明文化して記載し、以後はそれらのうち改訂を要するもののみについて総会の議決を経ることにする。但し、それらを含む毎事業年度の事業計画設定が、総会の議決事項であることに変わりはない。

一、事故損失相互補償の共済金給付の基本金額

二、共済掛け金の基本金額

三、鶏病の予防、治療に関する給付について、施行規則に具体的に現物又は代金を支給するよう明文化する。

タイゲイすべからざる餌と食物

主飼料であるトウモロコシや魚粉等の先物が高いので、晚春から初夏のころには、配合飼料も値上がりするのではないかと心配されています。その反面、石油

かと心配されています。その反面、石油

本牛は岩手県岩手郡雫石町、小岩井農場で繁殖され、昭和三十七年五月に本県に導入、昭和三十七年十二月から供用開始、昭和四十三年三月までに延べ六、二七三頭に授精を行なった。

下表のとおり

4 体各部の測定値

品位に富み、鋭角的で体各部の均称良く、尻も良いが、皮膚被毛がやゝ粗い感があり、後肢が弱い。

3 特徴

父
第52サー ロメオ アフケヴェール
母
フェザン ロメオ フーン
体格得点 80.1 点
2才3月365日 3回搾乳
乳量 6.660.6 Kg
乳脂量 212.9 Kg
乳脂率 3.20%
5才1月365日 3回搾乳
乳量 12.009.1 Kg
乳脂量 402.3 Kg
乳脂率 3.35%
能力脂数 193%

1 血統

祖父
第29サー ロメオ レンロック ホームスピー
祖母
バイオニア スシー
父
第60スプリング バンク エキスペクテーション
母
第9 フェザン
体格得点 76.0 点
5才2月365日 4回搾乳
乳量 7.761.1 Kg
乳脂量 271.8 Kg
乳脂率 3.50%

V 第7サー ロメオ バイオニア スシー

No 37511 HACJ
生年月日 昭和36年7月7日
体格得点 86.0 点
产地 岩手県

6 泌乳能力 調査中

(2) 好ましい形質
腹が良く、胸特に肋
あり、皮膚被毛やゝ粗
富み乳房の質が良
好である。
品種や不足の感
刚強であります。
意ますので配合子を有し
して下さい。には注
意下さい。

7 子牛への遺伝力

品種の特徴	肩	背	尻	肢	頭き甲助	皮膚被毛	前	肋	乳房		乳	静脈
	腰	蹄	蹄	蹄	腿	丸	胸	腹	質	容積形状	頭	脈
77.3	76.6	76.7	76.1	77.9	77.6	78.0	78.0	78.4	77.1	76.3	77.3	

岡山県酪農試験場

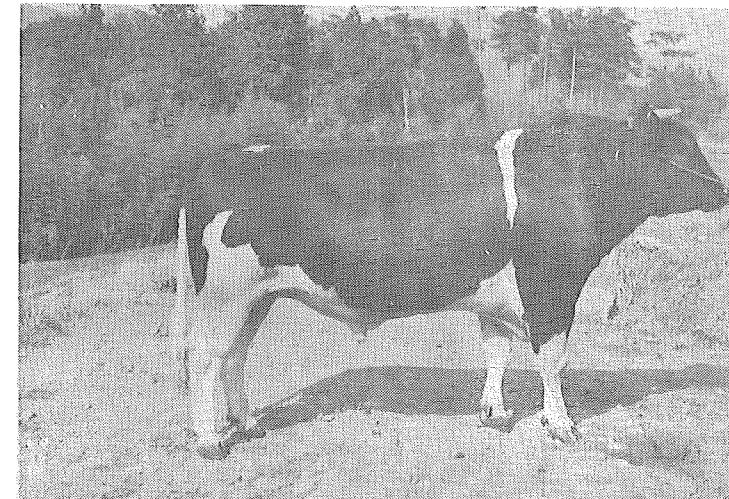
繫養種雄牛の概要

乳用種雄牛の性能について

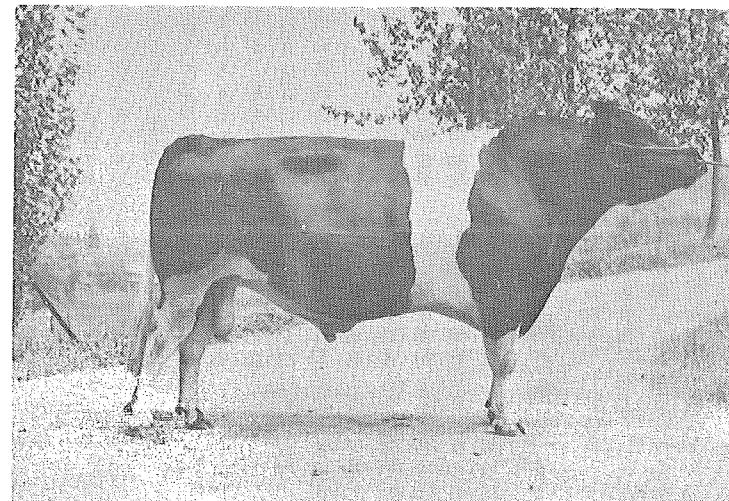
酪農振興を図るために、乳用牛の改良増殖を積極的かつ効率的に実施することが必要であり、また改良上種雄牛の占める役割は極めて大で

能調査事業を行ない効果を上げております。この種雄牛の性能を早期に知るため性

が、この度、紙面をお借りして、その結果の判明したもの、および各専門農協、関係団体等の協力で、伝能力を調査したものについて遂次報告しますので、皆様の種雄牛選択の参考にして下さい。



第7サー ロメオ バイオニア スシー



第10キング ベッシー スカイライン

5 高等登録得点配分

(1) 第7サー ロメオ バイオニア スシー (審査月令 4才10月)													
品種の特徴	肩	背	尻	頭	頭き甲助	皮膚被毛	墨	乳頭	乳静脈	前肋	前	後	計
	腰	蹄	腿	腿	丸	丸	丸	胞	胞	腹	肢	肢	860
88	85	87	89	85	85	85	84	86	85	84	82	860	

(2) 娘牛

(2) 娘牛 ア 昭和42年春娘牛 3頭の平均												
品種の特徴	肩	背	尻	肢	頭き甲助	皮膚被毛	前	肋	乳房		乳	静脈
	腰	蹄	蹄	蹄	腿	丸	胸	腹	質	容積形状	頭	脈
78.0	77.0	78.0	75.3	78.0	77.0	77.3	77.3	78.0	78.3	73.7	76.8	

イ 昭和43年春娘牛 1頭の得点

品種の特徴	肩	背	尻	肢	頭き甲助	皮膚被毛	前	肋	乳房		乳	静脈
	腰	蹄	蹄	蹄	腿	丸	胸	腹	質	容積形状	頭	脈
76.0	77.0	78.0	76.0	76.0	77.0	77.0	77.0	78.0	76.0	77.0	77.0	

畜産コンサルタント事業の

受診申し込みを受け付けています。

法人 岡山県畜産会

昭和四十四年度は総合農政の動き出す年で、特に畜産には期待が持たれているようであるが、一方では貿易自由化品目の拡大等、我が国畜産発展の上にのしかかる問題も重大なものがある。岡山県畜産会では、このような状況にあって、畜産農家の経営改善のために、いろいろな事業を通じてその目標達成のための努力を重ねている。特に県下のトップクラスの専門家集団（畜産コンサルタント団）の細部までの行きとどいた個別指導、グ

（1）一般診断指導事業
市町村、農協等を受診団体として、その要請に応じて、その管内の畜産農家二三戸を対象として、各分野の専門家集団（畜産コンサルタント団）による総合的な診断分析およびその結果に基づく具

昭和四十四年度は総合農政の動き出す年で、特に畜産には期待が持たれているようであるが、一方では貿易自由化品目の拡大等、我が国畜産発展の上にのしかかる問題も重大なものがある。岡山県畜産会では、このような状況にあって、畜産農家の経営改善のために、いろいろな事業を通じてその目標達成のための努力を重ねている。特に県下のトップクラスの専門家集団（畜産コンサルタント団）の細部までの行きとどいた個別指導、グ

（2）中核農業者群育成事業
（1）診断対象畜産
農家等の選定方法
（2）受診申込みの方法
（1）診断対象畜産
農家等の選定方法
（2）中核農業者
イ、多頭羽飼育者又はこれから規模拡大をはかろうとしている意欲的な農業者で将来发展が予想されるもの。
ア、普及所等が指導している農業後継者を中核農業者に指定し、その農業者を中心とする畜産技術研究グループの組織化および活動について指導を行なう事業である。

（1）診断対象畜産
農家等の選定方法
（2）中核農業者
イ、先進的な畜産技術をもって優れた畜産経営を行なっている者。
ア、地区的同様の畜産農家をリードし

VI 第10キング ベッシー スカイライン

No 38379 HACJ
生年月日 昭和36年7月16日
体格得点 84.8点
産地 農林省福島種畜牧場

1 血 統

父	第27キング ベッシー セントラム	祖父	第8キング ベッシー オームスピーチ
母	アイダ ロッタ アヴァランシュ メード	祖母	バブスト リバーク クロヴェール
		祖父	ウイスパーク アヴァランシュ
		祖母	アイダロッタ マタドーア パターメード

体格得点	78.9点	体格得点	77.5点
6才1月305日3回搾乳量	7.575.1kg	4才3月305日4回搾乳量	8.730.9kg
乳脂量	247.3kg	乳脂量	200.9kg
乳脂率	3.26%	乳脂率	3.33%
6才6月365日3回搾乳量	11.364.7kg	6才6月365日3回搾乳量	11.364.7kg
乳脂量	371.3kg	乳脂量	371.3kg
乳脂率	3.27%	乳脂率	3.27%

2 経歴

本牛は農林省福島種畜牧場で繁殖され、昭和三十七年八月本県に導入、昭和三十七年十二月から供用開始し、昭和四十三年三月までに延べ七、七四九頭に授精を行なった。

3 特徴

均様が良く、特に皮膚被毛は優れ、前肋胸、肋腹も良いが、背腰と後肢がやゝ弱い。

4 体各部の測定値

下表のとおり

品種の特徴	肩	背	腰	尻	股	頭	頸き甲助	腿	皮膚被毛	丸	乳頭乳静脈	前助	肋	前腹	後腹	計
86	81	83	85	90	84	84	86	86	84	84	81	84	84	84	84	842

5 高等登録得点配分

（1）第10キング ベッシー スカイライン

(審査月令4才10)																
品種の特徴	肩	背	腰	尻	股	頭	頸き甲助	腿	皮膚被毛	丸	乳頭乳静脈	前助	肋	前腹	後腹	計
86	81	83	85	90	84	84	86	86	84	84	81	84	84	84	84	842

（2）娘牛

ア 昭和43年春娘牛5頭平均

品種の特徴	肩	背	腰	尻	股	頭	頸き甲助	腿	皮膚被毛	丸	乳頭乳静脈	前助	肋	前腹	後腹	計
782	764	766	760	790	778	786	798	768	766	766	780	784	784	784	784	7842

7 子牛への遺伝力

調査中

（本調査は各組合へ体型資質調査を依頼しとりまとめたものである）
 (1) 好ましい形質
皮膚にゆとりがあり、波毛良好で体積に富み、肋腹良く開張し乳房の質、乳静脈共に良好である。
 (2) 好ましくない形質
肢蹄がやゝ弱く、乳房の容積と形質がやゝ悪い。

イ 昭和43年秋娘牛1頭の得点

品種の特徴	肩	背	腰	尻	股	頭	頸き甲助	腿	皮膚被毛	丸	乳頭乳静脈	前助	肋	前腹	後腹	計
770	770	770	770	760	780	780	780	780	780	790	770	770	770	770	770	770

牛の流行性感冒の予防対策

岡山県農林部畜産課衛生係

北海道を初発として全国的に流行している牛の流行性感冒は、岡山県においても二月十二月に赤磐郡山陽町南方で発生し、こんご続発するおそれがある。

この流行性感冒の症状は、発熱（三九度から四一度五分）、発咳、鼻汁（水様または膿様）、流涙、流涎を主たる徵候とするが、白血球の減少（五、〇〇〇以下）を見るものもあり、乳牛では乳量が減少する。感染は牛の品種、用途および年令等に関係なく、感染力は強いようである。また、発生が冬期で発生地が寒冷な場所であること、および熱型等から、従来の流行熱とは異なる点が見受けられる。

△△△ 病原体についても、現在農林省畜衛生試験場で検索中であるが、今のこところ、パラインフルエンザ³型、アデノウイルス（袋井株）、牛肺疫、牛の伝染性鼻腔炎は陰性であり、舍と関係のない所で受け渡しをする。また、発行熱は寒い牛流行熱については検査中である。

△△△ その経営の主な問題点の解明とその具体的改善対策を打ち出し、経営者に対して直接助言指導を行なうとともに、後日助言書にして交付する。

△△△ 病原体については、現在農林省畜衛生試験場で検索中であるが、今のこところ、パラインフルエンザ³型、アデノウイルス（袋井株）、牛肺疫、牛の伝染性鼻腔炎は陰性であり、舍と関係のない所で受け渡しをする。また、発行熱は寒い牛流行熱については検査中である。

△△△ 中核農業者群育成事業は、中核農業者の濃密指導を行なうとともに、一般診断事業で判明したその地区の一般的な問題点、その他地区的希望する項目について年間順次系統的に指導を行ない、グループ全体の技術水準の向上と経営改善をはかる。

△△△ その為に必要な資料等も作成し配布する。

6. 準会員への加入

畜産コンサルタント事業を受ける受診申込書に添えて、本会宛提出する。

注：本要領中の別記様式第一～七号は

各農林事務所に準備してある。な

お、詳細は直接岡山県畜産会へ問

い合せること。

入の機会を少なくする。
輸送車も慎重に消毒する必要がある。

△△△ 病原体が発見されていないので予防注射の実施も不可能であるから、自分の牛は自分で守ってゆくことが必要であるので、消毒にたよって病原体を入れないように努力していた

△△△ には必ず消毒槽を設置して、立入時の消毒を励行させている。

△△△ まん延を防止するためには、早期発見と届出の励行が必要である。畜舎にては過剰廃用を極力防止し、損耗を防ぐ

△△△ 未発生地域の予防対策としては、畜舎等は三・三平方メートル（一坪）あたり一～二キログラムの消石灰、クレゾール石けん液、逆性石けん液、

△△△ 二バーセント粗製苛性ソーダ液の撒布、手指は、踏込み用として三バーセントクレゾール石けん液、一ペー

△△△ 二バーセント逆性石けん液、作業衣はアモニューム塩、または塩素製剤の動場等は三・三平方メートル（一坪）あたり一～二キログラムの消石灰、クレゾール石けん液、逆性石けん液、

△△△ 二バーセント粗製苛性ソーダ液の撒布、手指は、踏込み用として三バーセントクレゾール石けん液、一ペー

ア、受診団体もしくは地元、市町村、農協の技術員の内でその畜種について最も適任と思われる者を選ぶ。

3. 申込書の作成と提出

受診申込書は三部複写とし一部受診団体に保存し、二部を所轄農林事務所を経由してその内一部を岡山県畜産会へ提出する。提出期限はその年の四月末日迄とする。

4. 受診地区の決定

畜産会は受診申込書の提出があったら、指導機関の岡山県及び本事業の促進対策協議会にかかり受診地区を決定し、その旨農林事務所を経由し、申込団体その他の関係機関に通知する。

5. 診断指導の方法

一般診断指導事業の対象農家の予備調査を診断指導員と畜産会職員によって行なう。その経営内容および農家の依頼事項に応じて本会の常勤畜産コンサルタントを総括とした各分野の専門家で診断班を編成し、予め通知した日時に現地で経営の分析、検討をし、診断班全員およ

△△△ 二バーセント粗製苛性ソーダ液の撒布、手指は、踏込み用として三バーセントクレゾール石けん液、一ペー

岡山畜産便り

（二月号）

第二〇巻 第二号

（通巻第百九十八号）

昭和四十四年二月一日 発行

発行人 物津律上

編集人 蔵知毅

発行所 岡山市桑田町一の二

印刷所 ふじや高速印刷所

電話岡山 ⑧八五七五番

振替 岡山八五七五番

一部五十円（送料共）

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所

氏名明記の上申込んで下さい。

集團申込は代表者の名で何人分か

を明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前

は一部誌代を四十円に割引きます。

但しこの場合は一括購読ですから

個人別発送は致しません。

申込先

岡山市桑田町一丁目二番地

社団法人岡山県畜産会指導課

（電話）岡山 ⑧8575番

（口座番号）岡山八五七五番

入を何んとか実現しようとがんばってい

ていくことの出来る者。